上富良野町表彰条例施行規則等の運用方針

(昭和 62 年 10 月 7 日決定)

改正 昭和 63 年 10 月 5 日	平成 6 年 10 月 18 日	平成 11 年 10 月 4 日
平成元年 10 月 9 日	平成 7 年 9 月 13 日	平成 13 年 9 月 20 日
平成 3 年 9 月 10 日	平成 7 年 10 月 5 日	平成 14 年 10 月 17 日
平成 4 年 10 月 5 日	平成 9 年 10 月 8 日	平成 14 年 10 月 17 日
平成 5 年 11 月 2 日	平成 10 年 10 月 19 日	平成 15 年 9 月 25 日
平成 16 年 9 月 8 日	平成 17 年 9 月 27 日	平成 18 年 7 月 31 日

上富良野町表彰条例施行規則の運用については、次に定めるところにより実施する。

1 自治功労表彰の基準（第 2 条関係）

別表第 1 表彰区分の自治功労表彰の項第 5 号に規定する「功労が特に顕著と認められる者」の範囲には、次の各号に掲げるもので、かつ、年齢が 70 歳以上の者も含める。

- (1) 自治功労表彰の項の第 1 号から第 4 号に規定する職にあった者で在職年数の換算が基準年数を満たすもの
- (2) 国会議員又は道議会議員の職に 4 年以上あった者
- (3) 町長の職に 4 年以上あった者で他の功労が特に顕著なもの

2 社会貢献賞表彰の基準（第 4 条関係）

別表第 1 表彰区分の社会貢献賞第 1 号の項第 3 に規定する「功績顕著な者」の範囲には、次の各号に定める者及び在職年数の換算が基準年数を満たす者で、かつ、年齢が 70 歳以上の者も含める。

- (1) 町長として 4 年以上その職にあった功績顕著な者
- (2) 助役、収入役又は教育長として 8 年以上その職にあった功績顕著な者
- (3) 町議会議員として 8 年以上その職にあった功績顕著な者
- (4) 行政委員会の委員（公選、選挙又は議会の同意を得て選任若しくは任命される委員）として 12 年以上その職にあった功績顕著な者
- (5) 住民会長等をして 20 年以上その職にあって、地域住民の自治活動等の向上に尽力し、特にその貢献度が高く功績顕著な者

3 社会貢献賞表彰の基準（第 4 条関係）

別表第 1 表彰区分の社会貢献賞第 9 号の項第 1 に規定する「功績が顕著なもの」の範囲には、公益のため 700 万円以上（継続的に総額 700 万円以上の金品を寄附した者は除く。）の金品を寄附し、篤行者として町民の模範となる者を含める。ただし、同一の寄附について上富良野町表彰条例第 7 条により表彰した者及び特定の事業等を目的とする寄附を行った者は、除くものとする。

4 自治功労表彰の換算

候補者が別表第 1 表彰基準の自治功労表彰の項第 1 号から第 4 号の規定に該当し、年齢 70 歳以上の者で 2 以上の公職に就任していた場合には、最終の公職を 1 として、次に掲げる換算率により在職年数を換算する。

公 職 名	基 準 年 数	換 算 率		
町 長	8 年	1	$12 / 8 = 1.50$	$15 / 8 = 1.88$
助役・収入役・教育長	12 年	$8 / 12 = 0.67$	1	$15 / 12 = 1.25$
議 員	12 年	$8 / 12 = 0.67$	1	$15 / 12 = 1.25$
行政委員会の委員	15 年	$8 / 15 = 0.54$	$12 / 15 = 0.8$	1

5 社会貢献賞表彰の換算

この運用方針の2(1)から(5)の規定に該当し、年齢70歳以上の者で2以上の公職に就任していた場合には、最終の公職を1として次に掲げる換算率により在職年数を換算する。

公 職 名	基 準 年 数	換 算 率			
町 長	4 年	1	$8 / 4 = 2.0$	$12 / 4 = 3.0$	$20 / 4 = 5.0$
助 役 ・ 収 入 役 教 育 長 ・ 議 員	8 年	$4 / 8 = 0.50$	1	$12 / 8 = 1.50$	$20 / 8 = 2.50$
行政委員会の委員	12 年	$4 / 12 = 0.34$	$8 / 12 = 0.67$	1	$20 / 12 = 1.67$
住民会長又は付属 機 関 の 委 員 等	20 年	$4 / 20 = 0.20$	$8 / 20 = 0.40$	$12 / 20 = 0.60$	1

6 多額の金員を寄付した場合の善行表彰(第5条関係)

第5条第3号中「多額の金員」とは、300万円以上のものをいう。ただし、同一の寄付について上富良野町表彰条例第7条により表彰したものは除くものとする。また、特定の事業等を目的とする協賛団体等が、当該目的のために行う寄附は、除くものとする。

7 表彰の重複等

- (1) 自治功勞表彰と社会貢献賞は、同一の功勞では重複して表彰しないものとする。
- (2) 自治功勞表彰を受賞した者は、社会貢献賞、善行表彰及び勤続表彰はしないものとする。また、社会貢献賞を受賞した者は、善行表彰及び勤続表彰はしないものとする。
- (3) 功勞内容が同じ場合における勤続表彰と他の表彰とは同時に重複して表彰しないものとする。

8 表彰受賞決定者からの辞退申し出

表彰の決定を受けた者から受賞を辞退する旨の申し出があった場合は、速やかに書面により本人の受賞意志を確認し、以後は本人の意志を尊重し、取扱うものとする。

9 在職年数の換算除外

一の公職にあった者が、当該公職の職をもってして他の職を兼職していた場合は、当該兼職の在職年数は換算しないものとする。